

際之會社方面ニ對スル警察ノ警戒ヲ薄ナルベシト恐  
惟ニ此ノ機ニ於テ要求ヲ提出セバ勝利ニ歸スベシト  
一般労働者ヲ煽動シタルガ爲メ遂ニ卒議ヲ惹起スル  
ニ至リシモノナリ

### 六、要求事項迄ニ其ノ交渉状況

古屋真、鈴木伊之助、平本富次ハ職工代表トシテ十  
一月一日工場長島田三之助ニ別記ノ如キ數願書ヲ提  
出し其ノ實行ヲ陳情シタルガ翌二日支配人須久一郎  
ハ工場ニ赴キ職工一同ト會見シ要求事項ニ就テハ相  
當考慮ノ要アルモ大体希望ニ添フ様合カスベキニ付  
一任セ玉ト迫リシモ労働者側ハ全条項ヲ容認スル旨  
言明セサル一任セラズトテ不調ニ終リタルガ労働

者側ハ翌三日突然總罷業ヲ爲シタリ  
事業主ニ於テハ業務繁忙ノ際ナルヲ以テ就業ヲ勸説  
シタルモ肯セザルヲ以テ其ノ終交渉ヲ打切リ四日モ  
引續キ罷業ヲ繼續セリ 依ッテ事業主ハ門ヲ閉ケテ  
職工ヲ入場セシメズ他ヨリ鮮人ヲ雇入レ罷業者ノ總  
解雇ヲ爲サントシタリ

### 七、解決

事業主側ノ態度硬化セシ爲メ労働者側ハ狼狽ニ總罷  
合執行委員高山久藏、皆川利志ニ調停方ヲ依頼シ全  
人等ハ五日会社支配人ニ面接折衝ノ結果左記条件ヲ  
以テ解決ニ即時就業セリ

一 主謀者鈴木、古屋、平本ノ三名ニ對シ懲罰ノ意味